

白馬岳遭難(2021年7月)

50代女性。登山ルートから外れ斜面を強引に登る。いよいよ足元も悪くなり、これ以上進むとまずいと思い引き返す際に2度滑落し、動けないため救助を求めた。



解説

早朝の明るい時間スタートで、何度も登ったこともあるという安心感もあり、地図アプリを使っていませんでした。進むにつれて傾斜も急になり、足元が崩れやすくなっていきました。でも、これを乗り越えた先はきっと他の人が歩いている道に合流するといいな、と思っていたんですね。いよいよ足元も悪くなり、これ以上進んだらまずい...と気付いたときには、引き返すのも億劫なくらい上まで登ってしまいました。

でもこれ以上進めないで、そこで意を決して雪渓の方へ引き返し始めたのですが、しばらく進んだところで案の定足を滑らせ、滑落してしまったんです。岩に頭や体をぶつけながら、ある程度滑り落ちたところで一度止まったのですが、その後また足を滑らせて落ちてしまいました。(HP参照)

白馬岳は年間約2万人が登山する有名ルート。道が違う場合「あれっ？おかしい？」と気づくには難しくないが、道迷いはその行動を止めることができない。なぜならば、「この先にはきっと道に合流する！」という目標ができてしまっているからだ！この目標ができた後の行動は冷静でないことが多く、理解できない行動をとってしまう。これが、道迷いの心理である。